

戦略2 社会増対策（社会減ゼロ プログラム）

1 目標

- ①2024年までに日本人社会減ゼロを目指す
- ②20歳代前半の日本人若者の県内定着率93.0%を目指す
- ③5年間で25,000人の外国人の増加を目指す

2 達成状況

戦略指標	単位	区分	(参考) R1	計画期間		
				R2	R3	R4
1 日本人の転入超過数	人	目標	—	▲4,449	▲2,669	▲1,068
		実績	▲7,260	▲7,523	▲6,220	▲5,990
		評価	—	—/D	—/D	—/D
2 20歳代前半の若者定着率93.0%を目指す	%	目標	—	92.2	92.4	92.6
		実績	92.0	91.5	91.5	91.4
		評価	—	99.2%/B	99.0%/B	98.7%/B
3 外国人の増加数（累計）	人	目標	—	5,000	10,000	15,000
		実績	1,222 (単年)	3,446	4,126	17,080
		評価	—	68.9%/D	41.3%/D	113.9%/A

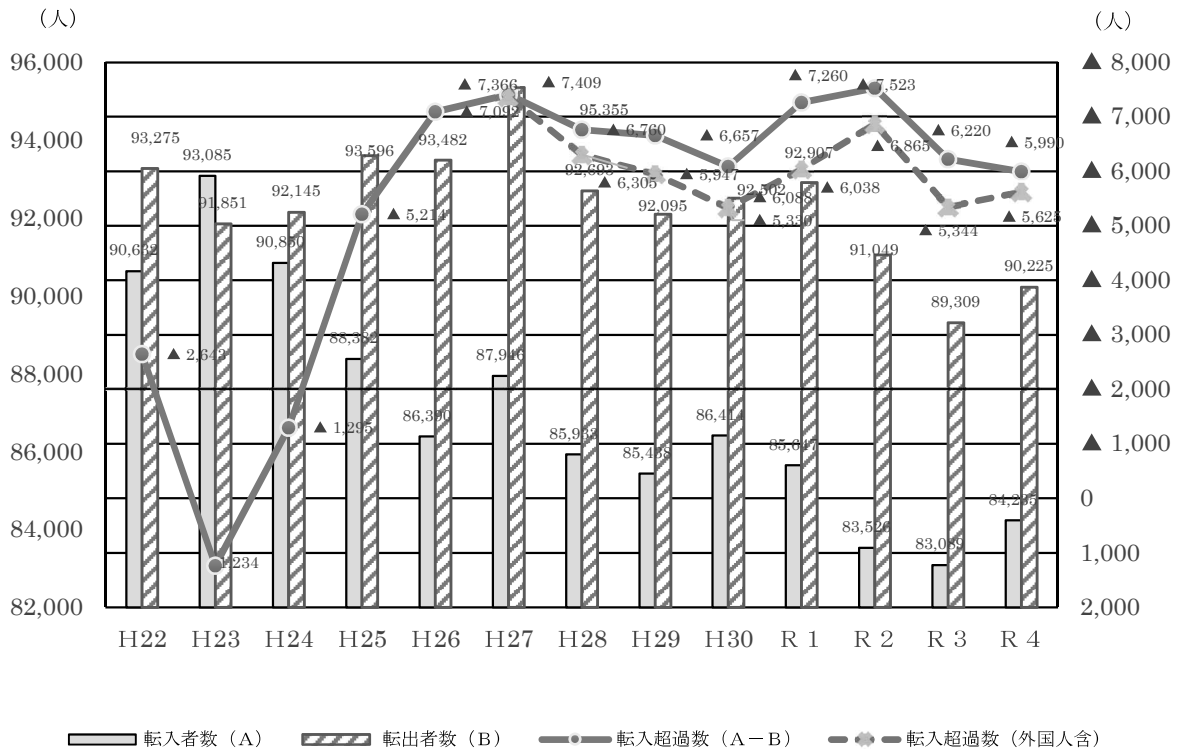
<状況分析>

- ・令和4年住民基本台帳人口移動報告における日本人の社会減（国内移動）は▲5,990人で、令和3年から230人改善した。
- ・20歳代の転出超過は依然として深刻だが、一方で、令和2年以降、ファミリー層（0～14歳、30～49歳）の転入超過が拡大している。
- ・就職等に伴う転出により、20歳代前半の若者定着率は低下基調が続いている。
- ・コロナ禍の影響で止まっていた入国制限が緩和され、外国人転入者数は急増した。

3 今後の取組方向性

- 学生と企業とのマッチング支援などにより、若者の県内就職を促進。また、高等教育の負担軽減や新婚・子育て世帯向け住宅の提供など、若者の定住・移住促進策を展開

【兵庫県の転出入の状況】



(出典：総務省「住民基本台帳人口移動報告」)

【人口移動（社会増減）の推移（日本人）】

項目	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
転入数 (A)	87,946	85,933	85,438	86,414	85,647	83,526	83,089	84,235
転出数 (B)	95,355	92,693	92,095	92,502	92,907	91,049	89,309	90,225
転入超過数 (A-B)	▲7,409	▲6,760	▲6,657	▲6,088	▲7,260	▲7,523	▲6,220	▲5,990
()：国際移動含む						(▲5,321)	(▲6,429)	(▲7,033)

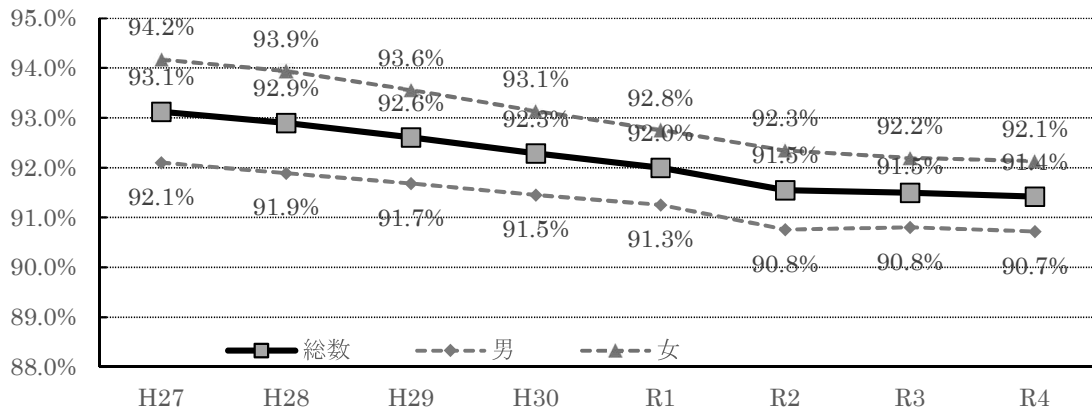
(出典：総務省「住民基本台帳人口移動報告」)

【年代別転入超過数の推移（日本人）】

項目	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
9歳以下	196	595	396	1,025	752	891	1,159	1,322
10代	164	▲165	▲179	▲258	▲277	117	250	158
20代	▲5,518	▲5,743	▲5,991	▲6,690	▲7,098	▲8,832	▲7,962	▲8,327
30代	▲1,399	▲954	▲694	▲27	▲542	▲26	280	339
40代	▲574	▲245	▲407	▲98	▲308	401	245	475
50代	▲30	▲41	6	101	226	192	93	392
60代	▲182	▲89	128	6	69	111	166	142
70代	▲64	▲142	34	▲60	8	▲205	▲269	▲188
80代	9	▲16	53	▲53	▲94	▲163	▲151	▲289
90代	▲12	40	▲3	▲34	4	▲9	▲31	▲13
合計	▲7,409	▲6,760	▲6,657	▲6,088	▲7,260	▲7,523	▲6,220	▲5,990

(出典：総務省「住民基本台帳人口移動報告」)

【20歳代前半の若者の県内定着率(日本人)の推移】



(人)

区分	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
総数(20~24歳)	291,823	284,552	278,325	273,482	269,343	268,020	265,025	264,519	264,023	265,294	263,157	263,321	261,000
他自治体への転出者数	16,118	15,898	16,245	16,832	17,043	18,430	18,814	19,549	20,367	21,227	22,244	22,395	22,392
転出率	5.5%	5.6%	5.8%	6.2%	6.3%	6.9%	7.1%	7.4%	7.7%	8.0%	8.5%	8.5%	8.6%
定着率	94.5%	94.4%	94.2%	93.8%	93.7%	93.1%	92.9%	92.6%	92.3%	92.0%	91.5%	91.5%	91.4%

(出典：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」、「住民基本台帳人口移動報告」)

【人口移動(社会増減)の推移(外国人)】

(人)

項目	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
転入数(A)	5,153	5,711	7,100	7,631	9,001	7,646	8,500	10,334
転出数(B)	5,110	5,256	6,390	6,873	7,779	6,988	7,624	9,969
転入超過数(A-B)	43	455	710	758	1,222	658	876	365
()：国際移動含む						(3,446)	(680)	(12,954)

(出典：総務省「住民基本台帳人口移動報告」)

重点目標 4 自分らしく働ける兵庫をつくる


重点指標	単位	区分	(参考) R1	計画期間		
				R2	R3	R4
1 20～30 歳代の若者の 転入超過数(日本人)	人	目標	—	▲6,112	▲4,584	▲3,056
		実績	▲7,640	▲8,858	▲7,682	▲7,988
		評価	—	—/D	—/D	—/D
2 新たに農業、林業、 漁業に就いた者の 数	人	目標	—	480	375	375
		実績	325	399	371	382
		評価	—	83.1%/C	98.9%/B	101.9%/A
3 外国人材(専門的・ 技術的分野、特定 技能、技能実習生) の受入数	人	目標	—	19,230	23,100	27,100
		実績	19,737	21,559	21,050	23,957
		評価	—	112.1%/A	91.1%/B	88.4%/C

今後の取組方向


- 県内企業との連携により、職場体験の推進など、企業と学生とのマッチングを促進し、若者の県内定着を促進する。
- 女性、外国人、留学生など、多様な人材が活躍できる職場づくりを推進する。
- 農林水産業の新たな担い手を育成するため、新規就農を希望する者への支援を充実するとともに、法人化や企業参入を促進し、雇用就農の拡大を図る。
- 地方回帰の流れを受けた地方移住への関心の高まりを踏まえ、UJI ターンを促進するため、移住相談体制を拡充する。また、高等教育の負担軽減や新婚・子育て世帯向け住宅の提供など、若者の定住・移住促進策を展開する。
- 外国人材の地域での活躍を促進するため、地域との共生や外国人材が持てる能力を発揮できる環境整備を推進する。

項目1 地元就業の促進

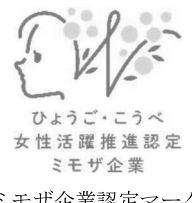
(1) 県内就業意識の高揚

事例	高校・大学と連携した取組	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内企業の魅力を知り、地元企業への就職を意識づけするため、大学生等を対象としたインターンシップや、参画企業とのマッチング会を開催（参加学生 R3:490人、R4:525人） ・ 県内企業の情報を掲載した企業ガイドブックを県内高校2年生全員に配布（R3:242校47千人、R4:238校44千人）。また、大学生対象のWEB版ガイドブックも作成し情報発信 		 <p>企業と学生との交流会チラシ</p>

(2) 地元企業と若者のマッチング強化

事例	県内企業と若者のマッチング	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 中小企業の人材確保と若者の県内就職を促進するため、「ひょうごで働こう！マッチングサイト」による県内企業の求人情報や魅力を発信（マッチング件数 R3:214 件、R4: 200 件） ・ ワーク・ライフ・バランス表彰企業のみが出席する WEB 企業魅力発信フェアを実施（企業 44 社、学生 111 人参加） 		 <p>「ひょうごで働こう！マッチングサイト」チラシ</p>

(3) 女性活躍の推進


事例	ひょうご・こうべ女性活躍推進企業（ミモザ企業）認定制度の創設	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内企業の女性活躍を促進するため、女性活躍に積極的に取り組む企業を県が認定し、広くPRする「ひょうご・こうべ女性活躍推進企業（ミモザ企業）認定制度」を創設。若者等にアピールすることで県内企業への就職を促進（認定企業数 70 社） 		 <p>ミモザ企業認定マーク</p>


【政策アウトカム指標】

	指標名	単位	区分	(参考) R1	計画期間		
					R2	R3	R4
1	県内大学生の県内就職希望率	%	目標	—	66	67	68
			実績	65.5	66.0	72.8	75.6
			評価	—	100.0%/A	108.7%/A	111.2%/A
2	県内大学卒業生の県内企業への就職率	%	目標	—	33	33	33
			実績	28.2	29.8	29.4	28.8
			評価	—	90.3%/B	89.1%/C	87.3%/C
3	若者（20歳代）の転入超過数	人	目標	—	▲5,678	▲4,259	▲2,839
			実績	▲7,098	▲8,832	▲7,962	▲8,327
			評価	—	—/D	—/D	—/D
4	若年女性（20歳代）の転入超過数（上記の内数）	人	目標	—	▲2,312	▲1,734	▲1,156
			実績	▲2,890	▲3,697	▲3,117	▲3,513
			評価	—	—/D	—/D	—/D
5	中小企業における「一般事業主行動計画」（女性の活躍に関する目標・取組）の策定率（累計）	%	目標	—	50	60	100
			実績	3.1	4.9	17.5	99.3
			評価	—	9.8%/D	29.2%/D	99.3%/B
6	農業分野のしごと創出数	人	目標	—	400	300	300
			実績	243	299	268	270
			評価	—	74.8%/C	89.3%/C	90.0%/B


項目2 UJIターンの促進

(1) 第二新卒者等、若年層のUJIターンの支援

事例	ひょうごで働こう！合同企業説明会等の開催
	<ul style="list-style-type: none"> ・全国どこからでも参加が可能なWeb方式による合同企業説明会を開催するなど、多くの企業情報提供の場を設け、県内外の学生とのマッチング機会を創出（R3:7回 R4:7回） ・就職活動への関わり方や県内企業の魅力を伝える「保護者向け就活応援セミナー」を開催（R3:1回、R4:1回）
	 <p>ひょうごで働こう！合同企業説明会</p>

事例	首都圏の学生等に対する県内就職の促進
	<ul style="list-style-type: none"> ・首都圏在住求職者や就職氷河期世代等の不安定就職者等に対し、適性にあった企業への就職を支援する「おためし企業体験事業 in HYOGO」を実施（R4参加者:269人） ・県内企業への就職・転職のきっかけとなるよう、首都圏へ流出した女子学生・転職希望者等と県内企業の人事担当者や実際に活躍している女性社員等ロールモデルによる交流会やワークショップを、オンラインも含めたハイブリッド方式で実施
	 <p>「おためし企業体験事業」 チラシ</p>

(2) カムバックひょうごセンターを核とした移住・定住の促進


事例	移住・定住に向けた「カムバックひょうごセンター」の運営
	<ul style="list-style-type: none"> ・「ひょうご移住プラザ」（東京）、「カムバックひょうごセンター大阪サテライト」（大阪）、「カムバックひょうごセンター」（神戸）の3拠点においてUJIターンの相談を実施 ・「ひょうご移住プラザ」に「カムバックひょうごハローワーク」を併設し、ワンストップで移住と就労相談を実施（移住相談件数 R3:1,180件、R4:888件、就労相談件数 R3:113件、R4:133件）
	 <p>ひょうご移住プラザ相談ブース</p>


【政策アウトカム指標】

	指標名	単位	区分	(参考) R1	計画期間		
					R2	R3	R4
1	県の支援によるUJIターン就職者数	人	目標	—	650	700	750
			実績	722	677	774	1,086
			評価	—	104.2%/A	110.6%/A	144.8%/A
2	カムバックひょうごセンター移住相談件数	件	目標	—	5,800	6,400	7,000
			実績	5,880	798	1,180	888
			評価	—	13.8%/D	18.4%/D	12.7%/D
3	移住施策によって県外から転入した人の数(累計)[県・市町の統合指標]	人	目標	—	400	800	1,200
			実績	674	913	1,671	2,704
			評価	—	228.3%/A	208.9%/A	225.3%/A
4	ひょうごe-県民登録者数(県外)	人	目標	—	35,000	45,000	55,000
			実績	19,855	30,317	36,642	38,803
			評価	—	86.6%/C	81.4%/C	70.6%/C


項目3 外国人材の活躍推進

(1) 高度外国人材の受け入れ促進

事例	外国人留学生の県内企業への就職促進	
	<ul style="list-style-type: none"> 外国人留学生の高度人材としての県内企業への就職を促進するため、外国人留学生のインターンシップや日本語能力向上支援を実施 大学と企業の意見交換会や合同企業説明会の開催（R3:2件、R4:2件）のほか、動画配信サイトで元留学生等からのメッセージを配信するなど、就活に関する情報を多言語で発信 	 <p>ビジネス日本語講座</p>

事例	外国企業向け一次進出プロモーションの実施	
	<ul style="list-style-type: none"> 外国企業の一次進出を兵庫県に効果的に取り込むため、欧州・米国・中国において兵庫・神戸の立地環境の魅力やワンストップサービスを周知するセミナー等を実施 パリ、ワシントン州、香港の3海外事務所主催で、各地でセミナーを開催（R4:3回） 	 <p>一次プロモーション@パリ</p>

(2) 外国人材の県内定着の促進

事例	外国人県民向け生活相談を実施	
	<ul style="list-style-type: none"> 相談員による生活・専門相談、情報提供及び、電話による外部通訳等を活用した22言語による生活相談・情報提供を実施し、外国人県民が暮らしやすい生活基盤づくりを推進（R4 ひょうご多文化共生総合相談センター相談件数4,264件） 	 <p>ひょうご多文化共生総合相談センター相談窓口</p>

【政策アウトカム指標】

	指標名	単位	区分	(参考) R1	計画期間		
					R2	R3	R4
1	外国人材の受入数（専門的・技術的分野）	人	目標	—	7,400	8,550	9,700
			実績	7,881	8,771	10,076	12,809
			評価	—	118.5%/A	117.8%/A	132.1%/A
2	外国人材の受入数（特定技能）	人	目標	—	2,400	4,800	7,200
			実績	50	853	2,548	(R5.9月)
			評価	—	35.5%/D	53.1%/D	—
3	県立大学の海外留学生数（受入人数）	人	目標	—	350	350	350
			実績	224	234	231	256
			評価	—	66.9%/D	66.0%/D	73.1%/C
4	県内中小企業等に就職した留学生数	人	目標	—	600	600	600
			実績	659	854	1,002	(R5.12月)
			評価	—	142.3%/A	167.0%/A	—
5	住んでいる地域が外国人にも暮らしやすくなっていると思う人の割合	%	目標	—	26	27	28
			実績	25.7	29.5	30.5	23.0
			評価	—	113.5%/A	113.0%/A	82.1%/C

戦略3 自然増対策(子ども・子育て対策)(婚姻数拡大プログラム)

1 目標

- ①2024年まで合計特殊出生率1.41を維持する
- ②結婚したいという希望を叶え、2024年に婚姻数27,000件を目指す

2 達成状況

戦略指標	単位	区分	(参考) R1	計画期間		
				R2	R3	R4
1 合計特殊出生率	‰	目標	—	1.41	1.41	1.41
		実績	1.41	1.39	1.36	1.31
		評価	—	98.6%/B	96.5%/B	92.9%/B
2 婚姻件数	件	目標	—	25,000	25,500	26,000
		実績	25,109	21,964	20,938	20,844
		評価	—	87.9%/C	82.1%/C	80.2%/C

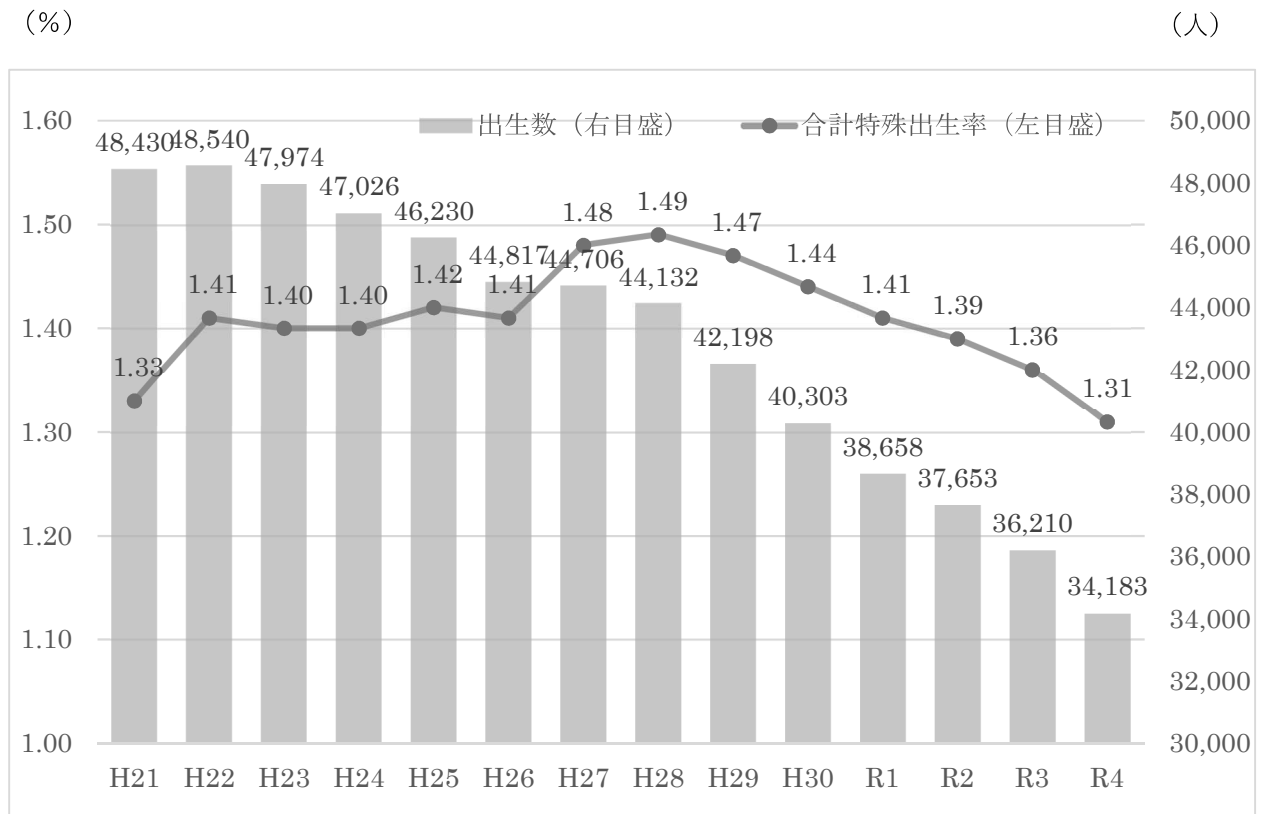
〈状況分析〉

- ・合計特殊出生率は、未婚率の上昇等により平成28年の1.49をピークに低下している。コロナ禍での感染リスクへの不安から、妊娠を控える動きもあり、令和4年は、前年比0.05ポイント減の1.31(概数ベース)となり、平成29年から6年連続で低下した。
- ・婚姻件数は、令和元年は令和婚の影響もあり25,109件と前年より増加したが、令和4年は新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年、3年に続き減少(前年比▲94件)し、長期的にみても減少傾向にある。

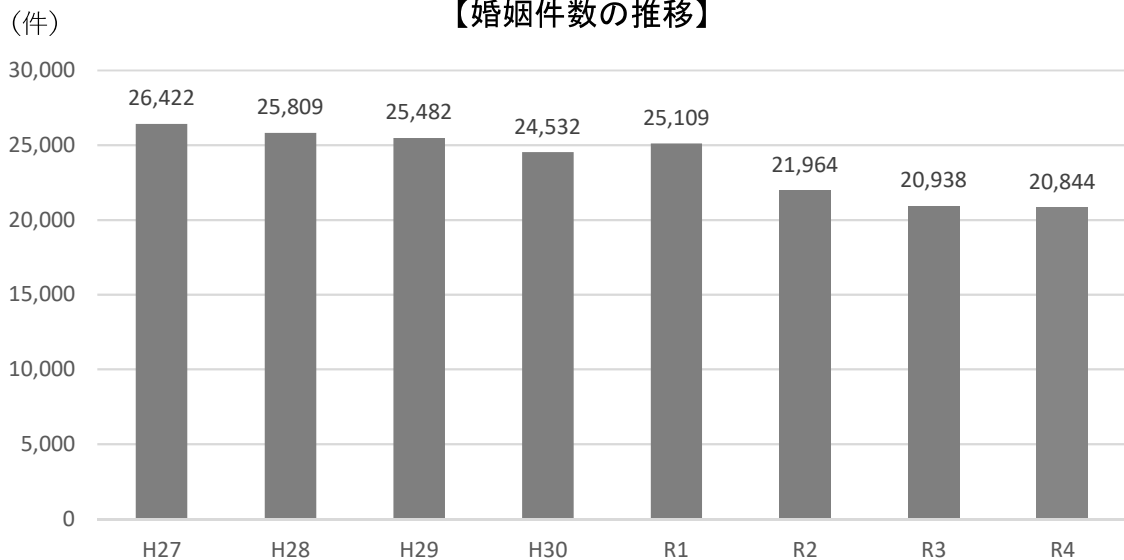
3 今後の取組方向性

- 出会い支援や不妊治療への支援強化、仕事と子育ての両立支援など、結婚・出産・子育て環境の充実に向けた切れ目のない支援を展開

【出生数と合計特殊出生率の推移】



【婚姻件数の推移】



重点目標5 結婚から子育てまで希望が叶う兵庫をつくる

重点指標		単位	区分	(参考) R1	計画期間		
					R2	R3	R4
1	結婚願望がある者の割合	%	目標	—	—	—	—
			実績	㊦60.5	—	—	— (次回 R5)
			評価	—	—	—	—
2	住んでいる地域では、 子育てがしやすいと思 う人の割合	%	目標	—	前年度を 上回る	前年度を 上回る	前年度を 上回る
			実績	55.4	58.3	58.8	55.5
			評価	—	105.2%/A	100.9%/A	94.3%/B
3	保育所等待機児童数	人	目標	—	0	0	0
			実績	1,569	769	311	241
			評価	—	—/D	—/D	—/D
4	放課後児童健全育成事業 (放課後児童クラブ)の 待機児童数	人	目標	—	0	0	0
			実績	954	1,180	929	1,023
			評価	—	—/D	—/D	—/D

今後の取組方向

- 出会い支援や不妊治療への支援強化、仕事と子育ての両立支援など、結婚・出産・子育て環境の充実に向けた切れ目のない支援を展開する。
- 妊娠・出産への不安を解消するため、妊婦等の孤立防止や安心して妊娠・出産できる医療体制の整備に取り組む。
- 結婚や子育てといったライフステージの変化に応じた多様で柔軟な働き方ができるよう、幼児期の保育等を質・量ともに拡充するとともに、ワーク・ライフ・バランスを推進し、出生数の増加につなげる。

項目1 結婚のきっかけづくり

(1) 出会い・結婚支援の充実

事例	出会いと結婚支援の充実
	<ul style="list-style-type: none"> 「地域出会いサポートセンター」及び「ひょうご出会いサポート東京センター」において、各種サポート等、成婚に繋げる取組を実施（成婚数R3:93組、R4:110組） さらに機能性・利便性を高めるため、各種手続きをオンライン化するとともに、AIによる自動お相手紹介機能を有する新たなマッチングシステムを開発 新婚世帯に対し、結婚に伴う新生活のスタートアップに係るコスト（新居の家賃、引っ越し費用等）を支援する市町を対象に、支援額の一部を補助（R4：17市町で実施）



ひょうご出会いサポートセンター

事例	”結婚っていいな！”西播磨縁結び事業
	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民や団体等が連携して、独身者が結婚に前向きになるような、きめ細やかな縁結び活動を促進し、地域ぐるみで結婚を進める機運を醸成 地域の魅力をPRするとともに、西播磨地域で結婚していきいきと暮らしている人の紹介や、結婚支援イベント情報、婚活に役立つコラム、西播磨のおすすめデートスポットなどを紹介する結婚支援情報フリーペーパー「一緒に暮らそう。西播磨。」を発行




一緒に暮らそう。西播磨

【政策アウトカム指標】


	指標名	単位	区分	(参考) R1	計画期間		
					R2	R3	R4
1	出会いイベントの参加者数	人	目標	—	7,000	7,000	2,000
			実績	4,782	1,943	2,099	1,907
			評価	—	27.8%/D	30.0%/D	95.4%/B
2	出会いサポートセンター会員数	人	目標	—	5,000	7,000	3,500
			実績	4,176	3,562	3,306	3,094
			評価	—	71.2%/C	47.2%/D	88.4%/C
3	出会い支援事業等の成婚者数【県・市町の統合指標】	組	目標	—	355	355	355
			実績	530	169	137	148
			評価	—	47.6%/D	38.6%/D	41.7%/D
4	20～30歳代女性の転入超過数(日本人)	人	目標	—	▲2,708	▲2,031	▲1,354
			実績	▲3,385	▲3,786	▲2,933	▲3,468
			評価	—	—/D	—/D	—/D

項目2 安心して子どもを産み育てられる環境の整備

(1) 妊娠・出産の不安解消

事例	不妊や予期せぬ妊娠など妊娠期から寄り添う子育て支援の充実
<ul style="list-style-type: none"> ・ 予期せぬ妊娠など妊娠・出産・育児に対する悩みや不安を抱えた方やその家族等が、電話やメール、LINE面談、受診同行など、24時間365日安心して専門家に相談できる窓口を設置 (R4相談件数14,976件) ・ 不妊の原因を早期に発見し、効果的な治療へ繋げるため、不妊治療の入り口となる検査費用について助成するとともに、高額な医療費がかかる不妊治療に要する費用の一部を助成 (R4助成件数961件) 	
 <p>24時間365日、無料で相談できます 予期せぬ妊娠 SOS 相談事業 078-351-3400 LINE@ninochodor https://ninshinos-sodan.com</p> <p>予期せぬ妊娠で悩む悩まずに思い悩んでいるあなたへ 24時間・365日いつでも安心できる無料相談窓口 ひとりでも悩まないで一緒に考えましょう 妊婦SOS 兵庫 県民局</p>	
県内高校等に配付するカード	

(2) 子育てや教育に係る負担の軽減


事例	乳幼児等医療費助成事業・こども医療費助成事業等の実施
<ul style="list-style-type: none"> ・ 一定の所得以下の家庭の乳幼児等が病気やけがで医療機関等を受診した場合に、医療保険における自己負担額の一部を公費で負担する「乳幼児等医療費助成事業」(対象:小学3年生まで)及び「こども医療費助成事業」(対象:小学4年生から中学3年生まで)を実施し、医療に係る負担を軽減 (対象者数 R3:540,129名、R4:525,948名) ・ 幼児教育・保育の無償化の給付を受けていない、満3歳以上の幼児の保護者が負担する子育て施設等の利用料を支援 (R4:延べ1,134名を支援) 	
 <p>兵庫県立こども病院</p>	

【政策アウトカム指標】


指標名	単位	区分	(参考) R1	計画期間		
				R2	R3	R4
1 推計値と合計特殊出生率との差	—	目標 (推計値)	—	0 (1.41)	0.03 (1.38)	0.05 (1.36)
		実績 (合計特殊出生率)	— (①1.41)	▲0.02 (1.39)	▲0.02 (1.36)	▲0.05 (1.31)
		評価	—	—/D	—/D	—/D
2 周産期母子センター・周産期医療協力病院の指定数	箇所	目標	—	31	31	31
		実績	31	31	30	30
		評価	—	100.0%/A	96.8%/B	96.8%/B
3 院内助産・助産師外来の設置箇所数	箇所	目標	—	28	30	32
		実績	28	28	30	27
		評価	—	100.0%/A	100.0%/A	84.4%/C
4 里親登録者数	人	目標	—	464	509	554
		実績	403	433	478	515
		評価	—	93.3%/B	93.9%/B	93.0%/B
5 児童のいる世帯のうち2人以上児童のいる世帯数割合	%	目標	—	—	—	58.7
		実績	54.3	—	—	49.4
		評価	—	—	—	84.2%/C

項目3 子育て応援社会の形成

(1) 放課後等の居場所づくり

事例	放課後児童クラブの充実など子どもたちの居場所づくり
<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所等通園児の小学校入学を機に保護者の仕事と育児の両立が困難となる「小1の壁」の解消を図るため、開設時間の延長等放課後児童クラブの機能を充実（R4利用児童数56,957人） ・ 同クラブへのマスクや消毒液等の配布、感染防止用の備品購入に関する支援のほか、利用児童等の入退出の管理や、オンラインを活用した会議、研修受講に必要なICT機器の導入等の環境整備に関する支援を実施（R4：26市町へ補助） 	 <p>放課後児童クラブ</p>

(2) 子育て家庭を見守る地域づくり

事例	「乳幼児子育て応援事業」などすべての子育て家庭を対象とした支援
<ul style="list-style-type: none"> ・ 在宅で保育されている子どもや保護者が、保育所等でしつけや集団活動を学ぶ、「乳幼児子育て応援事業（0～2歳児）」など、全ての子育て家庭を対象とした支援を実施（R4実施箇所511園） ・ 令和3年度から、子育ての悩みや不安を抱え在宅で育児をする世帯をより積極的に支援するため「ひょうご子育て相談」を開設し、電話相談や、必要に応じて専門職による相談などを実施（R4相談件数480件）。また、令和5年2月から「親子のための相談LINE」を開設 	 <p>親子のための相談LINE</p>

【政策アウトカム指標】

指標名	単位	区分	(参考) R1	計画期間		
				R2	R3	R4
1 保育所・認定こども園等定員数(累計)	人	目標	—	115,000	118,000	120,000
		実績	115,268	119,108	121,964	123,660
		評価	—	103.6%/A	103.4%/A	103.1%/A
2 保育士・保育教諭、幼稚園教諭数	人	目標	—	【保育士・保育教諭】 20,200 【幼稚園教諭】 4,096	【保育士・保育教諭】 20,900 【幼稚園教諭】 4,054	【保育士・保育教諭】 21,200 【幼稚園教諭】 4,013
		実績	【保育士・保育教諭】 19,684 【幼稚園教諭】 4,140	【保育士・保育教諭】 20,688 【幼稚園教諭】 4,045	【保育士・保育教諭】 21,711 【幼稚園教諭】 3,969	【保育士・保育教諭】 (R5.12月) 【幼稚園教諭】 3,944
		評価	—	【保育士・保育教諭】 102.4%/A 【幼稚園教諭】 98.8%/B	【保育士・保育教諭】 103.9%/A 【幼稚園教諭】 97.9%/B	【保育士・保育教諭】 — 【幼稚園教諭】 98.3%/B
3 病児・病後児保育の不足量	人日	目標	—	需給均衡	需給均衡	需給均衡
		実績	▲20,570	▲60,779	▲65,698	▲66,443
		評価	—	—/A	—/A	—/A
4 夫の育児・家事分担時間	分	目標	—	—	—	R7年度までに120分
		実績	Ⓒ85	—	94	(次回R8)
		評価	—	—	—	—

戦略 4 自然増対策(健康長寿対策)(健康寿命延伸プログラム)

1 目標

- ①平均寿命と健康寿命の差を縮める
- ②運動を継続している人の割合を高める

2 達成状況

戦略指標	単位	区分	(参考) R1	計画期間		
				R2	R3	R4
1 平均寿命と健康寿命の差	年齢差	目標	—	—	—	R6に 男性：1.40未満 女性：3.13未満
		実績	男性：1.48 女性：3.20	男性：1.44 女性：3.16	(R5中)	(R6中)
		評価	—	—	—	—
2 運動を継続している人の割合	%	目標	—	73.0	75.0	64.4
		実績	62.7	65.5	63.0	67.8
		評価	—	89.7%/C	84.0%/C	105.3%/A

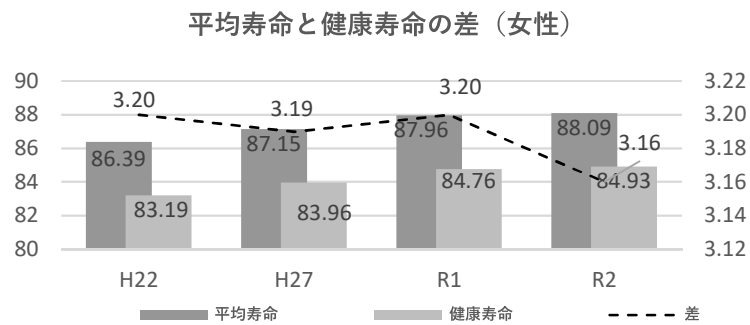
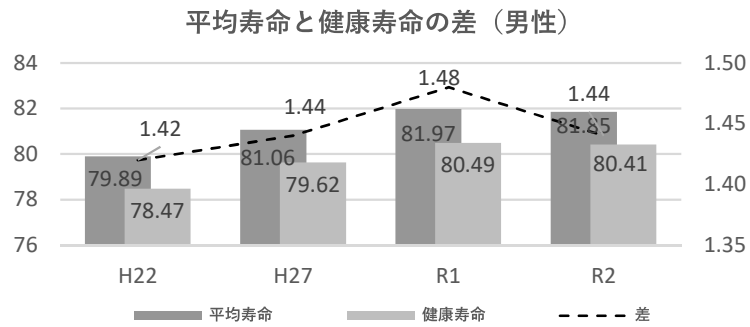
〈状況分析〉

- ・平均寿命と健康寿命の差は男女いずれも縮小した。
- ・運動を継続している人の割合は67.8%と昨年より4.8ポイント上昇した。

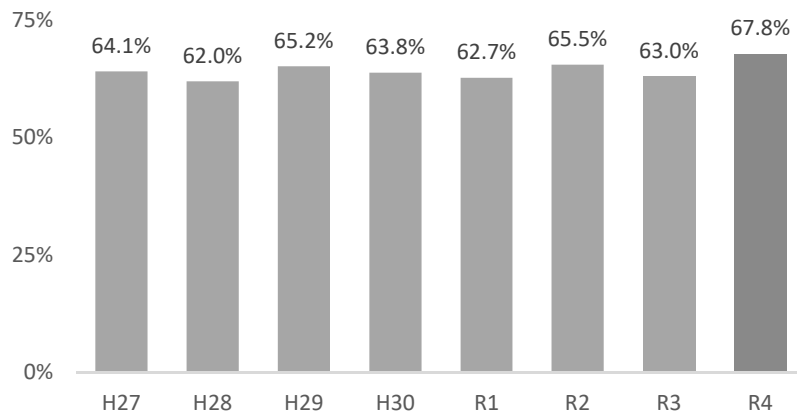
3 今後の取組方向性

- 生活習慣の改善や、がんや認知症の予防・早期発見の推進、高齢になっても安心して暮らせる地域づくりなど、一人ひとりに寄り添う地域医療・介護体制の構築を推進

【健康寿命、平均寿命の推移（男女別）】



【運動を継続している人の割合の推移】



重点目標 6 生涯元気に活躍できる兵庫をつくる

重点指標	単位	区分	(目標) R1	計画期間		
				R2	R3	R4
1 がんによる 75歳未満 の年齢調整 死亡率	%	目標	—	—	—	R5年度までに全国 平均より5%低い 状態
		実績	全国平均よりも 3.1%低い状態 (国70.0%、県 67.8%)	全国平均よりも 0.9%低い状態 (国69.6%、県 69.0%)	全国平均よりも 0.7%低い状態 (国67.4%、県 66.9%)	(R6.3月)
		評価	—	—	—	—
2 朝食を食べ る人の割合	%	目標	—	—	—	R6年度までに 【20歳代男性】 57%以上 【20歳代女性】 76%以上
		実績	【20歳代男性】 ^㉗ 51.4% 【20歳代女性】 ^㉗ 69.2%	【20歳代男性】 57.1% 【20歳代女性】 75.8%	【20歳代男性】 47.0% 【20歳代女性】 64.9%	【20歳代男性】 61.3% 【20歳代女性】 66.7%
		評価	—	—	—	—
3 認知症相談 医療機関の 登録数	箇所	目標	—	2,186	2,202	2,218
		実績	2,168	2,138	1,937	1,955
		評価	—	97.8%/B	88.0%/C	88.1%/C
4 75歳以上 人口に占め る要介護認 定率	%	目標	—	—	—	R7年度に34.6%
		実績	34.3	34.6	(R5.9月)	(R6.9月)
		評価	—	—	—	—
5 高齢者(65 歳～74歳) の有業率	%	目標	—	—	—	38.3
		実績	㉘32.7	—	—	37.3
		評価	—	—	—	97.4%/B

今後の取組方向

- 疾病の早期発見・早期治療を推進するため、健康診断等の受診を促進するとともに、生活習慣の改善促進による主体的な健康づくりを支援する。
- 高齢者になっても安心して暮らせるよう、市町と連携し、介護予防・重度化防止や認知症の予防、早期発見・早期対応の取組を推進するほか、地域で医療、介護、生活支援を総合的に提供する仕組みの構築を支援する。
- 年齢にかかわらず元気高齢者がこれまで培った知識・スキル、経験を生かし、社会の担い手として活躍できるよう、高齢者の多様な社会参加へのニーズに対応できる環境を整備する。

項目1 健康づくりの推進

(1) 疾病の予防・早期発見・早期治療の推進

事例	がん検診の推進など疾病の予防・早期発見・早期治療の推進
	<ul style="list-style-type: none"> がん検診の「受診しやすい環境づくり」に取り組む事業所を支援するため、健康づくりチャレンジ企業のうち従業員数が300人以下の事業所及び県内の従業員数100人以下の事業所等において、従業員やその被扶養者ががん検診（胃がん・肺がん・大腸がん・子宮頸がん・乳がん）を受診した場合にその費用の一部を助成（R4助成：180企業、11,201人） 生涯にわたり健康で質の高い生活を送るための基礎となる歯及び口腔の健康づくりの推進のため、「歯及び口腔の健康づくり推進条例」を制定（令和4年4月1日施行）



歯及び口腔の健康づくり推進大会

(2) 生活習慣の改善促進

事例	生活習慣の改善促進
	<ul style="list-style-type: none"> 県民の健康寿命の延伸を目指し、健康づくりに関心の低い働き盛り世代の取組を促進するため、従業員やその家族の健康づくりに積極的に取り組もうとする企業に「健康づくりチャレンジ企業」への登録を促進（R3:2,012社、R4:2,163社） 登録企業に対しては、健康情報の提供やメンタルヘルス対策に関する産業カウンセラー等の専門人材の派遣、がん検診・歯科健診受診促進や健康づくり機器等の購入費の一部助成などの取組支援を実施（企業のメンタルヘルス等推進事業実績 R3:150社、R4:168社）



「健康づくりチャレンジ企業」チラシ

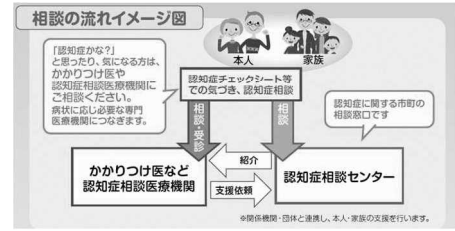
【政策アウトカム指標】

指標名	単位	区分	(参考) R1	計画期間			
				R2	R3	R4	
1 特定健診受診率	%	目標	—	50	52	55	
		実績	51.7	49.7	52.7	(R6 中)	
		評価	—	99.4%/B	101.3%/A	—	
2 特定保健指導実施率	%	目標	—	20	25	30	
		実績	20.1	20.1	22.7	(R6 中)	
		評価	—	100.5%/A	90.8%/B	—	
3 がん検診受診率	%	目標	—	—	—	(R6 に 50%)	
		実績	胃がん：44.1% 肺がん：44.6% 大腸がん：42.5% 子宮頸がん：39.1% 乳がん：42.1%	—	—	胃がん：43.0% 肺がん：44.2% 大腸がん：43.2% 子宮頸がん：38.9% 乳がん：42.8%	
		評価	—	—	—	—	
4 健康づくりチャレンジ企業登録数	社	目標	—	1,500	1,500	1,500	
		実績	1,681	1,866	2,012	2,163	
		評価	—	124.4%/A	134.1%/A	144.2%/A	

項目2 高齢者等誰もが安心して暮らせる環境整備

(1) 認知症対策の推進

事例	認知症予防・早期発見の推進
	<ul style="list-style-type: none"> 認知症予防教室をより効果的に展開するため、先進的な研究成果に基づくプログラムの活用や、客観的データを用いた効果検証・事業評価に取り組む市町に財政支援を実施(R4:5市町) 身近な相談窓口として県内市町への認知症相談センターの設置を促進(令和5年3月末現在256カ所)。同センター相談員や市町認知症支援担当者を対象に研修等の技術支援を実施(R3:2回、R4:1回) 認知症の本人に「ひょうご認知症希望大使」を委嘱し、普及啓発活動や当事者の意見を反映した認知症施策の展開等を推進



認知症相談センターパンフレット

(2) 高齢者の地域生活を支える体制の強化

事例	地域における介護予防・生活支援の取組支援
	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者が安心して暮らせる地域づくりの一環として、地域における介護予防・生活支援の取組を支援。また、住民主体の取組が、県内全域で展開されるよう、関係団体による介護予防・生活支援推進会議を開催したほか、市町職員等を対象とした介護予防推進研修を実施。県内市町では、通いの場等での「いきいき百歳体操」等の取組を推進 筋力維持を図り、健康二次被害を予防するため、健康スポーツ医や理学療法士等と連携し、地域高齢者の通いの場等を活用した運動指導を実施(モデル地区：神戸市等5市町) フレイル予防の重要性を認識し、予防・改善ができる県民を増やすため、市町や関係団体と連携し、「栄養(食事改善・口腔機能維持)、運動、社会参加」の3つのポイントに焦点をあてたフレイルチェックを実施(R3:6,564名、R4:10,175名)





講演会「フレイル予防で健康寿命をのばそう」

【政策アウトカム指標】


指標名	単位	区分	(参考) R1	計画期間		
				R2	R3	R4
1 認知症相談センターの相談件数	件	目標	—	12,400	12,600	12,800
		実績	12,205	11,843	11,600	12,524
		評価	—	95.5%/B	92.1%/B	97.8%/B
2 居宅サービス利用者数	人	目標	—	—	—	R7年に419,372人
		実績	502,357	512,086	(R5.9月)	(R6.9月)
		評価	—	—	—	—
3 在宅看取り率	%	目標	—	27	28.8	29.1
		実績	28.2	30.6	33.7	(R5.10月)
		評価	—	113.3%/A	117.0%/A	—

項目3 元気高齢者の社会参加の促進


(1) 元気高齢者の社会参加の促進

事例	シニア世代の就労支援
<ul style="list-style-type: none"> ・生きがいごととサポートセンター内に「働くシニア支援ステーション」を設置し、コミュニティ・ビジネスにかかる起業・就業相談や就業体験、セミナーの実施から職業紹介まで、ワンストップで高齢者の就労を支援（R4：起業件数26件、セミナー等参加者数186人） ・ひょうご・しごと情報広場に「シニア世代就労相談窓口」を設置し、就労意欲のあるシニア世代がライフスタイルや能力に合わせて活躍できるよう、就労希望者のマッチングを支援 ・介護現場への多様な人材の参入と介護人材の確保を図り、高齢者や女性等の地域住民が介護保険施設や訪問介護事業所等で、研修期間を設けて介護の周辺業務に従事する「ひょうごケア・アシスタント制度」を推進 	 <p>シニア起業セミナー</p>  <p>シニア世代就労相談</p>

(2) 定年退職後の高齢者の就業機会確保

事例	定年退職後の高齢者の就業機会確保
<ul style="list-style-type: none"> ・定年退職後等の高齢者の多様な就業機会を確保するため、県内34のシルバー人材センターを指導・育成する(公社)兵庫県シルバー人材センター協会の運営を支援 (会員数 R3:41,262人、R4:40,240人) 	 <p>兵庫県シルバー人材センター事業推進大会</p>

(3) 高齢者の生涯学習支援

事例	定年退職後の高齢者の学習機会確保
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の生涯学習の場として、また地域貢献活動へ参画するきっかけとして、高齢者大学を運営（R4：受講者数2,292名） ・ICTを活用し、いなみ野学園等でのオンラインによる教養講座を開催し、著名な講師を招くなど魅力ある講座を実現するとともに、動画配信等による在宅学習の普及を推進し、休校となった場合も学びが継続できる体制を確保 	 <p>いなみ野学園講義風景</p>

【政策アウトカム指標】

	指標名	単位	区分	(参考) R1	計画期間		
					R2	R3	R4
1	シルバー人材センター事業就業実人員数	人	目標	—	35,000	35,000	35,000
			実績	34,232	31,997	31,104	30,239
			評価	—	91.4%/B	88.9%/C	86.4%/C
2	コミュニティ・ビジネスの起業団体数	団体	目標	—	150	150	150
			実績	129	104	99	77
			評価	—	69.3%/D	66.0%/D	51.3%/D